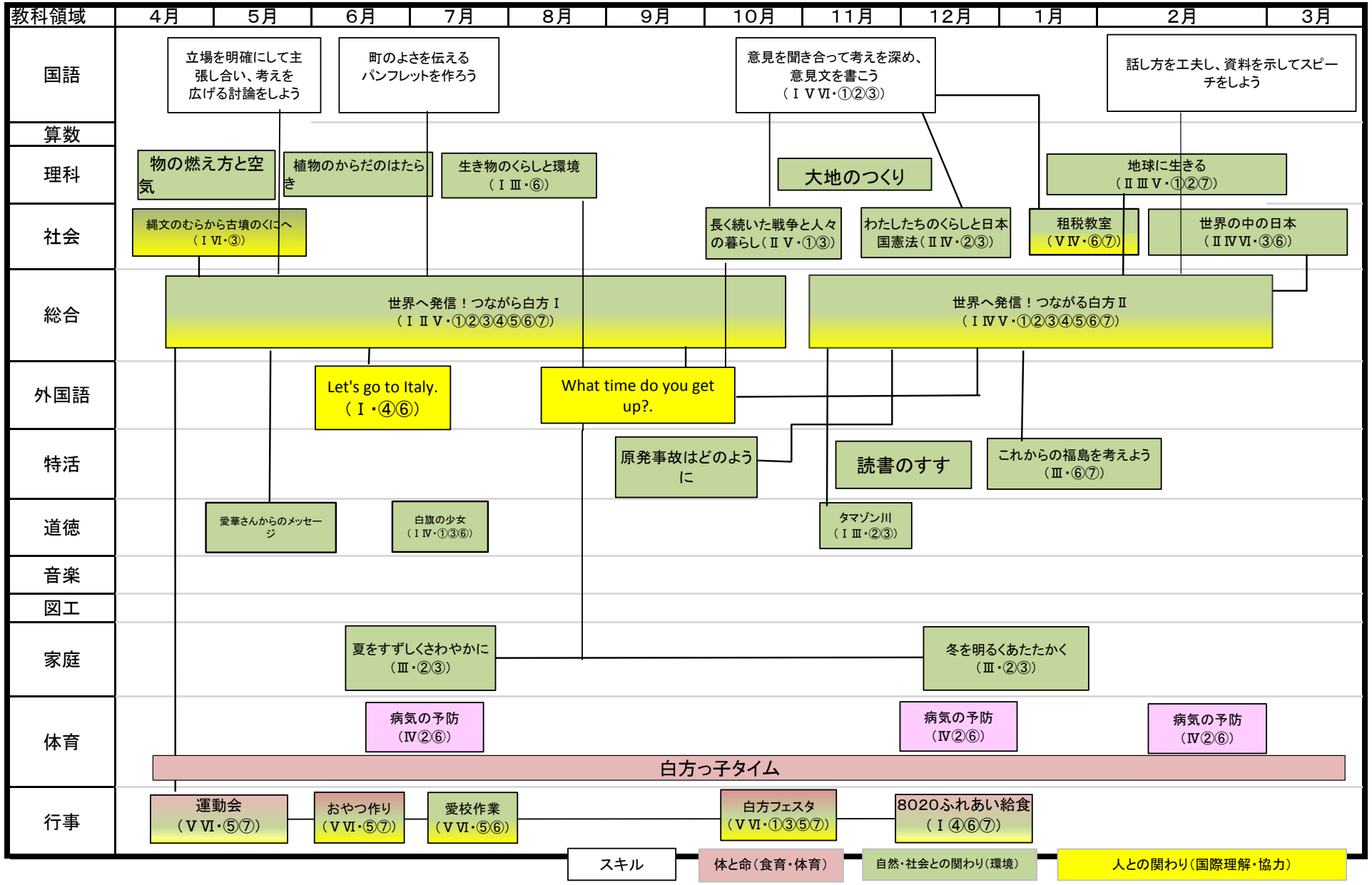
第6学年　ESDカレンダー

須賀川市立白方小学校



（）・・・「持続可能な社会づくり」の構成概念Ⅰ～Ⅵ　Ⅰ多様性　Ⅱ相互性　Ⅲ有限性　Ⅳ公平性　Ⅴ連携性　Ⅵ責任性

総合的な学習の時間　第6学年　指導計画

【めざす児童像】
・自分なりの考えや目的を持ち、実際にやってみることを通して、難しさや大変さを知り、自分なりの課題を持つことができる児童
・友達と協力したり、地域の方と進んで関わったりしながら、課題を解決することができる児童

5月　6月　7月　8月　9月　10月　11月　12月　1月　2月　3月

田んぼで学ぼう（10時間）

【ねらい】
・米作りに関わる体験活動を通して、働くことの苦労や喜びを実感するとともに、稲作に従事する人々の願いを知り、自然の恵みに感謝する心を育てる。
・米作りに関わっていただく方々との交流を通して、他者との関わりを大切にしようとする態度やコミュニケーション力を育成する。

＜オリエンテーション・計画立て＞　4月　2時間）【ねらい】・米作りについての見通しを持つことができる。
4月外部講師に米作りについて教えてもらう。（1時間）　教えてもらったことを元に、年間の計画を立て活動の見通しをもつ。（1時間）

＜田植え＞・・・5月（2時間）　【ねらい】・田植えの方法を理解し、苗を植えることができる。

＜除草などの世話＞・・・（2時間）　【ねらい】・自分たちができることを考えて実行することができる。

＜稲刈り・脱穀＞・・・10月（2時　【ねらい】・育てた稲を自分の手で刈り取ることにより、収穫の喜びを味わうことができる。

＜収穫祭（もちつき）＞・・・10月（1時　【ねらい】・収穫した米を使って餅つきを行い、保護者や地域の方と一緒に収穫を祝うことができる。

＜ふりかえり＞・・・11月（2時　【ねらい】・米作りのまとめをすることができる。

世界のために何ができる？～白方ができること～（60時間）

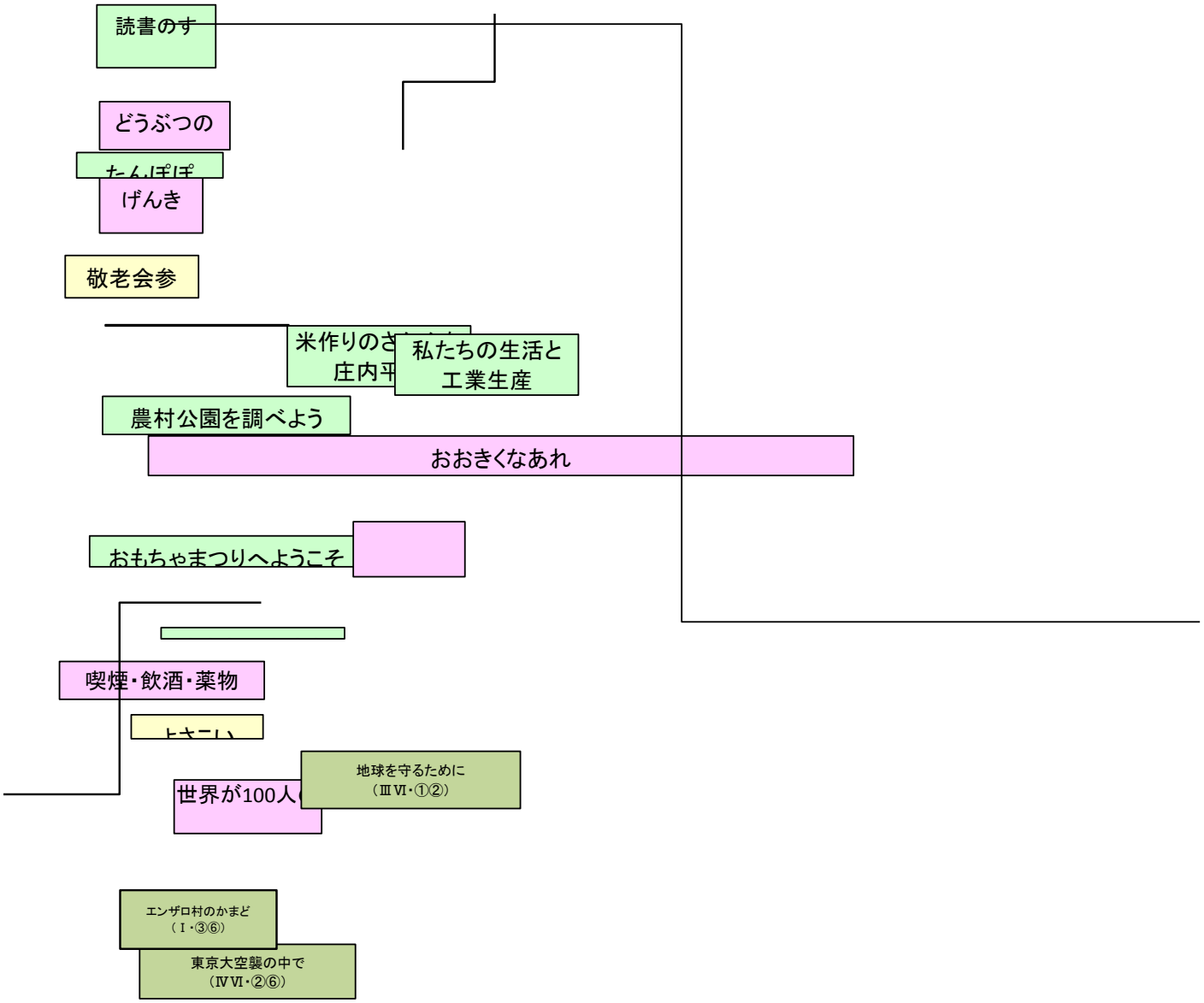
【ねらい】
・ 自分たちを取り巻く地域の自然や人、産業、生活環境などに関心を持ち、課題を設定し、協力しながら追究することができる。
・ 追究して分かったことや考えたことをいろいろな人に伝えたり、自分の生活とつなげて自分ができることを実践しようとする意欲を持つことができる。

世界のために何ができる？ Ⅰ ～白方ができること～
4月～8月（30時間）

【ねらい】
白方の地域の特徴について何を外国に発信したいか考え、ビデオレターを通して、海外へ発信することができる。
＜つかむ＞
○ 自分たちでビデオレターに発信したい内容を決め、計画を立てる。
＜調べる＞
○ インタビューや調べ学習で情報を収集する。
○ 調べたことを元に、ポスターを作成し、ポスターセッションを行う。
＜まとめる＞
○ 絵コンテを作成する。
○ ビデオレターの撮影、編集を行う。
○ 中間発表を行い、修正を図る。
＜発信する＞
○ ビデオレターを発信し、外国との交流を図る。

世界のために何ができる？ Ⅱ ～白方ができること～
9月～2月（30時間）

【ねらい】
前期のビデオレターを基に、地域特有のビデオレター作成し、海外へ発信する。また、返信のビデオレターを見て、自分の地域との相違点・類似点を発見することができる。
＜つかむ＞
○ 海外のビデオレターを見て、発信する内容を考える。
○ 自分たちでビデオレターに発信したい内容を決め、計画を立てる。
＜調べる＞
○ インタビューや調べ学習、アンケート等を活用し情報を収集する。
○ 絵コンテを作成し、
＜まとめる＞
○ 絵コンテを作成する。
○ ビデオレターの撮影、編集を行う。
○ 中間発表を行い、修正を図る。
＜発信する＞
○ ビデオレターを発信し、外国との交流を図る。
○ 全校生でビデオレター発表会を行う。
○ ビデオレターの返信を見て、今後自分たちにできることを考える。


読書のす
どうぶつの
たんぽぽ
げんき
敬老会参
米作りのさ
庄内平
私たちの生活と
工業生産
農村公園を調べよう
おおきくなあれ
おもちゃまつりへようこそ
喫煙・飲酒・薬物
ときこい
世界が100人
地球を守るために
（Ⅲ Ⅵ・①②）
エンザロ村のかまど
（Ⅰ・③⑥）
東京大空襲の中で
（Ⅳ Ⅵ・②⑥）

伝統を引き継ごう